

AUTUMN LEAGUE 2026年9月12日(土) K.O15:00 天候:曇 場所:アミノバイタルフィールド

チーム	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
日体大 TRIUMPHANT LION	7	13	0	0	20
明治大 GRIFFINS	7	3	0	14	24

日本体育大学TRIUMPHANT LIONとの一戦は、どんよりとした曇り空のもと行われた。 ※ (1)(2)…は学年、①②…は写真

明治のキック、日体のレシーブで開始。
1Q、守備陣が日体最初の攻撃をしっかりと抑えるも、明治の攻撃ではファンブルから自陣30ヤードで攻撃権を与え、タッチダウン(TD)を許し0-7。追う明治は#13QB関根那瑠(2)から#47FB小山田匠吾(4)#6WR後藤珠(3)へのパス、#5RB宇野楽翔(4)、#31RB鎗田悠輔(2)のランなどで着実に前進。敵陣26ヤードから宇野のランでゴール前まで迫り、小山田のダイブに続き鎗田が飛び込みTD。#36K/P石山健太(2)のトライフォーポイント(TFP)も決まり、7-7の同点に。
守備では#1DB北本悠哩(3)のパスカット、#52LB中敬進(4)のタックルに加え、相手パスを弾いたところを#4LB大石聡(4)がインターセプト。さらに#30QB田中香大(1)が20ヤードのランを見せ、明治が流れを引き寄せる。
2Q開始早々、関根から後藤(珠)へのTDパスが決まったかに見えたが判定により得点は認められず。それでも石山がフィールドゴール(FG)を成功させ、10-7と勝ち越し。しかし直後のキックオフリターンを大きく返されパスとランでTDも許し10-14と逆転される。後藤(珠)#88TE田原和春(4)へのパスなどでの反撃も得点には至らず。
守備では#91DL渡辺大馳(2)のロスタックル、#0DB大村徹兵(4)のパスカット、#99DL儘田怜(3)のタックルなどで粘るが、日体の4thダウン、パントフォーメーションからのパスに意表を突かれ、次の攻撃でTDを許す。10-20、10点を追う形で前半を折り返した。

秋大会 第2戦 VS. 日本体育大学TRIUMPHANT LION

後半は明治の攻撃からスタート。
小山田、後藤(珠)、田原へのパスなどで敵陣20ヤードまで攻め込むが、エンドゾーンへのパスをインターセプトされ得点ならず。その後は守備陣が日体の攻撃を抑える一方、明治もQBサックからボールを奪われるなど一進一退の展開に。自陣17ヤードまで攻め込まれたところで3Qを終える。
4Q、自陣17ヤードからの日体の攻撃を守備陣が粘り強く抑え、日体FGも失敗して明治がピンチを脱出。すると自陣深くから田原へのパス、#2WR後藤航太郎(4)へのロングパスで一気に敵陣20ヤードへ。最後は宇野がTD。TFPも決まり17-20と3点差に。さらに攻撃権が替わった直後、日体のショートパスを受けた選手に#32DB立田優希(3)、#11DL水野俊輔(4)が強烈なタックルでファンブルを誘い①、#9LB関拓真(3)がリカバーし敵陣深くまでリターン。宇野がランとダイブでTD②、TFPも成功。残り7分、24-20と逆転。
終盤も日体の反撃を受けるが、相手QBがファンブルしたボールを#98福井晨仁(3)がリカバー。明治はランで時間を使いながら前進するも、残り2分を切って再び日体に攻撃権を許し、自陣27ヤードまで攻め込まれたが、守備陣が守り切り③、24-20で試合終了。

2試合連続で最後まで勝敗の分からない接戦となったが、攻守で粘り強さを発揮、最後はしっかりと勝ち切った明治グリフィンス。開幕2連勝の勢いを、次戦の立教大学戦につなげてほしい。



■次戦

9月27日(日)14:00 VS. 立教大学 RUSHERS @アミノバイタルフィールド

ALL OUT Go! GRIFFINS